

平成25年度財団法人富山勤労総合福祉センター事業計画

1 運営方針

世界的な経済危機や東日本大震災の影響等により低迷していた日本経済は、一部回復の兆しが見られるものの、先行きは不透明な状況である。

このことから、当財団を取り巻く経営環境は今後とも厳しい状況が続くと予想されるため、各施設においては独立採算制を基本に、徹底したコストの削減を行う一方、それぞれの施設の特色を生かした魅力ある事業の展開や真心のこもったサービスを提供し集客の向上に努めている。

また、平成25年3月に富山県知事の認可を受けたことから、平成25年4月1日に一般財団法人へ移行する。

(1) 呉羽ハイツ

景気の低迷等から一時減少していた利用状況も徐々にではあるが回復する傾向も見られるが、依然厳しい経営環境のもと、「行ってみたい、来てみて良かった」と感じられる施設になるよう

- ① 魅力ある施設環境を盛り込んだ特色ある企画作り
- ② 地元の新鮮食材を活かした美味しい料理の提供
- ③ 「おもてなしの心」を基本とした質の高い接客サービスの提供
- ④ 見て、聞いて実感できる広告宣伝の実施

等を行う。

(2) とやま自遊館

平成23年度に策定した「とやま自遊館経営改善計画」をもとに、引き続き売上の増と経費の節減に努める。

また、リフレッシュプラザにおいては、公益目的事業として、引き続き勤労者をはじめとする県民の健康増進のための事業等に取り組む。

さらに、「ヤングジョブとやま」については、若者の就業支援に係る企画運営業務を引き続き国及び県から受託し、若者の雇用確保に積極的に取り組む。

また、「とやまシニア専門人材バンク」に係る企画運営、普及啓発業務を受託し、高齢者の就業支援等を行う。

2 重点実施事項

(1) 呉羽ハイツ

① 利用率の向上

- ア. 「ハイカラに休もう」をテーマとした特色ある宣伝広告を実施しイメージアップを図る
- イ. 地元を含め県内の新鮮食材を活用した季節ごとの特別料理企画を実施するとともに、引き続き好評な法要会食に力を注ぎ誘客に努める
- ウ. 平日利用の促進を図るため、各種企画を実施する
 - (1) 老人会及び企業研修を対象とした平日宿泊企画や入浴、休憩、お食事をセットにした日帰りプランを実施する
 - (2) レディースプランとして、限定企画（女子会プラン）を実施し、女性客の誘客を図る各企画ごとに「ハイカラに休もう。」（ハイツカラー）をテーマとした広告を実施し施設のイメージアップを図る

② 利用者へのサービスの向上

- ア. 施設設備の整備を常に行い、利用しやすくかつ安全な施設環境を提供する
- イ. 館内の共有スペース（渡り廊下等）を特設ギャラリーとし、各種サークルの作品展示会場とする
- ウ. お盆や年末・年始に各種イベント（夏祭り、年越しそば、餅つき大会等）を実施する

③ 職員研修

- ア. 接客サービスの向上を図るため、営業及び応接職員を対象とした研修（外部研修を含めた）を実施する
- イ. 調理職員の調理技術の向上を図るため料理研修会への参加

(2) とやま自遊館

① 利用増に向けた誘客・広報活動

- ア 職員全員が営業マンとなった誘客活動を実施する。
- イ オープン以来開設しているピアホールについては、新たなイベントなど魅力的な企画を実施し、誘客に努める。
- ウ 景気の影響が少ない祝事、法要宴会等の受注に努める。特に法要については引き続き受注拡大のためセールスを行う。
- エ 引き続き商品券を販売し売上を確保するとともに、予約獲得を目指す。
- オ 和洋折衷料理を積極的に売り出し、近隣洋食店との差別化を図る。
- カ 週末に比べ利用の少ない月～木曜日の誘客策として、お得なプランを企画・提供することにより利用増を図る。
- キ インターネット宿泊予約やツアー会社とのタイアップを推進し客室稼働率の向上

に努める。

ク 新聞、ラジオ、専門雑誌等の媒体を利用した広報活動やチラシの頒布を引き続き実施する。

② おもてなしの心が実感できるサービスの提供

ア 職員研修等を通じ、お客様本位のサービスに徹する職員意識の高揚を図る。

イ 富山の食材を使った越中料理など、お客様のニーズに合った和洋の多彩なメニューを企画・提供する。

ウ シーズン割引プラン、宴会付割引プランなど利用しやすい宿泊プランを提供する。

エ 安全・安心を最優先とした施設の管理運営に努めるとともに、老朽化した設備の更新を行う。

オ 県内著名作家による絵画・書の作品展等を開催する。

③ 健康増進に係る事業の実施

ア 勤労者等の福祉の向上と健康の増進を図るため、安全で安心な健康づくりの場を提供するとともに、様々な健康増進プログラムを提供する。

イ 水中運動等プールを活用したプログラム（子ども水泳教室、腰・膝痛緩和運動等）等の実施など、少年期の体力づくりや高齢者の運動実践等のきっかけ作りのための取り組みを行う。

ウ 県内医療機関と連携した健康づくりサポート（運動療法、メディカルフィットネス、リハビリ支援等）を実施するとともに、生活習慣病の防止・改善や介護予防等を目的とした運動プログラムの提供を行う。

エ 指定運動療法施設としてのメリットを生かした事業を展開し、新たな利用者ニーズの掘り起こしを図る。

④ 経営改善への取り組み

ア 24年度の経営改善の実績を踏まえ、経営改善計画のローリングを行う。

イ 経営改善計画を着実に実行し、しっかりとした進行管理を行う。

⑤ 職業教育、職業相談等の提供

ア ヤングジョブとやま

若者の就職に関する情報提供やカウンセリング、セミナー、トレーニング、職場見学、職場体験等を行う。

イ とやまシニア専門人材バンク

就労を希望する専門的知識・技術等を有する高齢者を対象とする人材バンクを設置し、高齢者の就業と県内企業の人材確保を総合的に支援する。

3 利用人員等目標

(1) 呉羽ハイツ

平成 25 年度は、利用人員 148,750 人（前年目標対比 100.2%）、営業収入 7 億 4,000 万円（前年目標対比 103.5%）を目標とする。

（単位：人）

区 分	平成 25 年度 目標人員 a	平成 24 年度 目標人員 b（見込）	比較 a-b
会議・研修	16,000	16,200 (15,400)	▲200
宿 泊	25,800	24,300 (25,700)	1,500
宴 会	43,600	47,450 (43,200)	▲3,850
休 憩	19,130	19,900 (17,500)	▲770
レストラン	12,500	12,000 (12,200)	500
喫茶・売店	27,800	24,500 (27,600)	3,300
そ の 他	3,920	4,100 (3,800)	▲180
合 計	148,750	148,450 (145,400)	300

(2) とやま自遊館

平成 25 年度は、利用人員 323,400 人（前年目標対比 99.1%）、営業収入 7 億 0,021 万円（前年目標対比 98.8%）を目標とする。

（単位：人）

区 分	平成 25 年度 目標人員 a	平成 24 年度 目標人員 b（見込）	比較 a-b
会議・研修	12,000	12,700 (11,000)	▲700
宿 泊	10,300	9,800 (10,100)	500
宴 会	27,000	28,000 (26,000)	▲1,000
レストラン	89,000	87,000 (88,800)	2,000
ホ ー ル	47,000	48,000 (46,000)	▲1,000
リフレッシュラザ	114,500	116,500 (113,500)	▲2,000
マガゾとやま	21,000	20,000 (23,000)	1,000
シニア人材バンク	1,000	3,000 (650)	▲2,000
そ の 他	1,600	1,500 (1,600)	100
合 計	323,400	326,500 (320,650)	▲3,100